

山名・山城	白馬大雪渓と白馬三山／長野県・白馬村
山行目的	トレッキングと温泉を楽しむ
山行期間	2017年8月3日(木)～6日(日)
参加者	4名

【 ルート、コースタイム 】

8月3日(木)：竹橋・毎日新聞社前～(夜行バス)～白馬猿倉

8月4日(金)【05:24am】白馬猿倉(1230m)・・【06:45am】白馬尻小屋(1500m)・・大雪渓・・【13:45pm】村営頂上宿舎(2700m)・・【14:42pm】白馬山荘 ☆歩行時間:約8時間

8月5日(土)【04:20am】白馬山荘・・白馬岳(2932m)・・【05:25am】白馬山荘【06:40am】・・村営頂上宿舎・・【07:08am】丸山(2768m)・・【08:45am】杓子岳(2812m)・・【09:25am】杓子沢コル【09:35am】・・【10:35am】鑓ヶ岳(2903m)【10:50am】・・【11:13am】鑓温泉分岐(2774m)【11:22am】・・【11:50am】大出原:昼食タイム【12:27pm】・・【14:16pm】白馬鑓温泉小屋(2100m) ☆歩行時間:約8時間

8月6日(日)【06:05am】白馬鑓温泉小屋(2100m)・・雪渓・・【07:33am】落石沢・・【07:37am】杓子沢:雪渓【07:50am】・・【09:10am】双子岩／小日向のコル(1824m)・・【11:25am】白馬猿倉(1230m)・・(アルピコ交通タクシー20分:¥3700)・・白馬ロイヤルホテル【入浴&食事】・・(徒歩)・・【14:37pm】白馬駅・・(あずさ26号:横浜まで¥8180)・・【18:01pm】八王子駅 ☆歩行時間:約5時間

【 山行記録(記録性を重視し、天候、コースの状況・特徴、注意点、必要になった用具など) 】

夏山には一番適した、8月上旬に行くことができた。山行少し前は天気への心配があったが、晴れが続く予報に変わり、期待感が高まる。夜行バスは眠れないが、早く安く行くためには致し方ないだろう。猿倉にはまだ夜が明ける前に到着、ポーとしながら身支度を整える。猿倉荘で登山受けをしている方に、山の状況を聞きながら、山行計画書を提出する。

白馬尻小屋に到着後、大雪渓をバックに写真を取った後、いよいよ登り始める。他の登山者が歩いた跡が黒っぽくなっており、そこを進んで行く。天気はよく、両サイドの山の緑、空の青さ、真ん中の雪の白さの3つのコントラストが実に美しかった。時折白い霧のようなものに前方に行く人々の姿が覆い隠されるのを眺めながら進んで行く。雪渓は少し溶けた感じでアイゼンはしっかり刺さり、滑ることはなかった。吹き下ろす涼しい風と、時折吹く少し生暖かい風を感じながら、登り始めて2時間ちょっとで雪渓歩きは終わった。小雪渓はなく、後は登山道となるが、わりと急登で手こずる。しかし、綺麗で可愛い花々が心を和ませてくれる。

村営頂上宿舎前で昼食を取り、白馬山荘へ向けてもうひと頑張り。3時前には到着でき、ひと団楽する。ザックを山荘に置いて白馬山頂に向かう。しかし、すでに霧が立ち込め始めており、「上に行っても何も見えないよね!？」ということで、すぐに引き返し、翌朝行くことに決定。

翌朝、食事前にヘッドライトを点けて白馬山頂に向かった。途中、ライチョウの姿を見ることができた。とてもラッキー! 周囲が明るくなり、天気は最高! 晴天であることを実感した。まさに「360度のパノラマ」を見ることができた。八ヶ岳の右に富士山、そして槍ヶ岳、剣岳、越後三山、日本海・・とぐるりと見渡せた。

この日は縦走となる。最高の天気にも恵まれ、緑の山肌とその窪地に所々残る白い雪が、晴れ渡った青い空とマッチして実に素晴らしい景色作り上げ、稜線上にいる我々に見せてくれた。白馬三山の杓子岳や鑓ヶ岳も、コルからは見上げるような感じで、実際かなり登り甲斐があった。途中、休憩を挟みながら何とか登頂を目指した。また天気も良く人気のコースなので、登山客でどこも賑わっていた。

鑓温泉分岐で一休みした後、鑓温泉を目指し一気に下って行く。少し行くと雪渓があり、その先の花畑の大出原で、のんびり昼食タイムにした。しかし、その後の2時間程の下りは苦労した。傾斜もきつく、足場も悪かった。最初の鎖場は大したことなく、こんなもんかと思っていた。しかし終わり近くの鎖場は、小沢の岩壁づたいに急な所をトラバースするような感じで降りて行く路だった。靴が沢の水で濡れて滑った。とても神経を使い、気の抜けない場所であった。

鑓温泉の露天風呂は、眼下に山並みを眺めながら解放感のある、実にダイナミックなものだった。また内風呂は天井が抜けていて夜空が見え、趣もあってよかった。カレーライスでお腹を満たし、風呂に浸かって眠りにつく。

最終日、猿倉を目指し下山開始。楽勝かと思いきや、雪渓も何度か登場し、アイゼンの出番となる。落石沢は、いつ落石が起きてもおかしくない、岩がゴロゴロしたガレた場所。上を見上げながら素早く通り過ぎる。小日向のコルを通過すると、色鮮やかな花々を目にする機会に恵まれた。しかしかなり蒸し暑くなり、汗をかきながら樹林帯を下って行く。ようやく11時15分、鑓温泉と白馬尻の分岐に出くわし、猿倉荘には11時25分に無事到着。



楽天写真館のマイページに白馬大雪渓があります。